

八千代台駅西口の様子

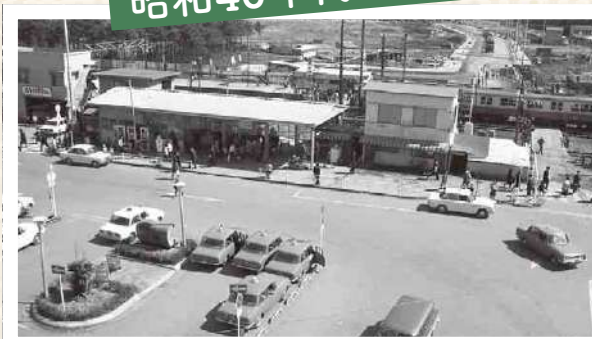


八千代台地区の今と昔 写真で振り返るまちの風景

広報広聴課では、市内各地の撮影を行い、その時々まちの様子を記録しています。

今号では、八千代台駅周辺の今と昔の写真を集めました。

昭和40年代の様子



▲昭和44年ころの駅前ロータリーの様子。線路の向こうに整備中の東口の様子が見えます



▲昭和45年ころの駅前の様子。駅前には八千代デパートが営業していました



▲昭和47年ころ。駅から県道に向かう道路の両側には、様々な商店が並んでいます



▲昭和47年ころの歩道橋の上から見た西口の様子



▲昭和43年ころの八千代台第一公園の様子。公園は昭和32年に供用されました



▲昭和49年ころ。当時、住宅団地発祥の地の碑はロータリー中央にありました

現在の様子



▲西口ロータリーは、バス停やタクシープールなどが再整備されました



▲八千代デパートは、昭和49年に現在のアピビルに建て替えられました



▲現在はアーケードはなく、多くの店舗はビルやマンションに建て替えられています



▲駅前の店舗もビルに建て替えられています



▲当時と同じ遊具が今でも残っており、子どもたちの遊び場となっています



▲住宅団地発祥の地の碑は、ロータリー再整備にあわせて歩道に移設されました